

# 「教育現場支援の多様な取り組み方」「経済入試問題のあり方」 シンポジウム開催のお知らせ

経済教育ネットワークでは、子どもたちが私たちの社会の仕組みを知り、そしてそのあり方について考える力を身に付けていく教育の実現を目指しています。

このたび、教育現場をあずかる全国の教員と、教育研究者、経済学研究者が共同で、これからの経済教育のあり方について考える二つのシンポジウムを開催します。

教育関係者、教員志望者、経済教育に関心をおもちの方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

**と き**：2010年3月20日(土) 13時00分～17時25分(受付開始12時30分)

**と ころ**：日本大学経済学部 7号館講堂（東京都千代田区三崎町1-3-2）

JR 総武・中央線「水道橋」駅東出口より南へ徒歩2分

都営三田線「水道橋」駅A2出口より南へ徒歩3分

都営新宿線・都営三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A4出口より北へ徒歩5分

**参加費**：無料（定員200名）

《スケジュール》

13:00～13:05 開会挨拶：篠原総一（経済教育ネットワーク代表）

13:05～15:00 シンポジウム1：教育現場支援の多様な取り組み方

コーディネーター 栗原 久（信州大学教育学部）

パネリスト

鈴木達郎（NPO 法人 金融知力普及協会）

クイズ経済甲子園の企画と運営を担当。これは、学校単位で参加する経済に関するクイズのコンペティションを勝ち抜いたチームが全国大会で日ごろの学習の成果を競う高校生の学習意欲を高めるユニークな取り組みです。

小山好晴（NHK 制作局 第2制作センター 経済・社会情報番組チーフプロデューサー）

テレビ番組「出社が楽しい経済学」の企画、制作にあたる。『出社が楽しい経済学』、『出社が楽しい経済学部2』（いずれもNHK 出版）を出版。経済学の考え方を分かりやすく解説する好著で、現場の先生方も参考にしています。

渡邊俊之（全国銀行協会企画部広報室室長）

「体験学習教材：生活設計・マネープランゲーム」などの教材の作成、普及など、金融経済教育を幅広く展開。現場への教材や情報提供を積極的に進めています。

15:15～17:15 シンポジウム2：経済入試問題のあり方

四年制大学への進学率が5割を超える現在、大学入試が学校教育へ大きな影響力を持っていることは間違いありません。実際、全国の多くの高等学校では、教室での学習は、大学入試問題を念頭において展開されるのが実情です。そのため、生徒にとって本当に学ぶ意味がある学習をすすめるためにも、質の高い大学入試問題が出題されることが望まれています。

経済教育ネットワークでは、このような観点から、全国主要大学の「政治・経済」入試問題（2009年度）の経済分野を観点別に評価するという調査研究プロジェクトを、昨年夏以来実施してきました。今回は、その研究成果の公表をかねたシンポジウムを企画しました。発表者は、高等学校教員のほかに、入学試験問題にかかわった大学教員を予定しており、その他に、大学入試関係者、予備校関係者なども参加して議論を深めたいと思っています。

コーディネーター 新井 明（東京都立西高等学校）

パネリスト

杉田孝之（千葉県立千葉西高等学校）

金子幹夫（神奈川県立三浦臨海高等学校）

加藤一誠（日本大学経済学部）

17:15～17:25 総括：大竹文雄（大阪大学社会経済研究所、経済教育ネットワーク副代表）

**主 催**：経済教育ネットワーク

【申込先】 <http://www.econ-edu.net/>

【問い合わせ先】日本大学経済学部 加藤一誠研究室 電話・FAX 03-3219-3361 メール [katou.kazusei@nihon-u.ac.jp](mailto:katou.kazusei@nihon-u.ac.jp)